

成人期の全身浸出症状と不眠を経て皮膚症状と頭痛が軽減した成人アトピーの経過 (40 歳 女性)

症例 ID：001-40-KK5 | 記録日：2016 年 6 月 28 日

1. 診断・治療前経過

成人期まで頭痛、腹部のかゆみ、口角症状などを繰り返し、痛み止め、かゆみ止め、外用薬などを使用していました。2015 年 5 月から薬の使用を中止し、同年夏から胴体、腕、脇、首へかゆみと傷が広がり、10 月には広範囲から浸出液が出ました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	皮膚症状に外用薬を使用していました。ステロイドを含む可能性があります。詳細は不明です。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	成人期まで断続的に使用しました。
中止時期	2015 年 5 月に外用薬を含む薬を中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2015 年 5 月	薬の中止	痛み止め、かゆみ止め、外用薬などを中止しました。
2015 年 8～10 月	悪化	胴体、腕、脇、首へ広がり、傷から浸出液が出ました。
2015 年秋	治療開始	煎じ薬、入浴、外用処置を開始しました。
治療 1 週目	ピーク	かゆみ、痛み、浸出液、寒気、腫れ、疲労が強くなりました。
治療 2 週目	範囲拡大	臀部から足先、手の甲にも症状が広がりました。
治療 3～4 週目	変化	浸出液が減り、朝のシャワーが不要となり、鼠径部の腫れも軽減しました。
その後数か月	症状の波	生理前後や花粉期に出たり引いたりを繰り返しました。
記録時点	生活変化	深い傷が減り、長年の頭痛もほとんどみられなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 1 週目に、全身のかゆみ、痛み、浸出液、寒気、腫れ、疲労が重なり、夜間に眠れなかった時期です。

5. 困りごと

- ・広範囲の浸出液と痛みで、家族の外用処置の手助けが必要でした。
- ・ピリピリした痛みと強いかゆみで眠れない夜がありました。
- ・頭痛や疲労を含む複数の症状が生活に影響しました。

6. 経過のまとめ

治療 3～4 週目には浸出液と鼠径部の腫れが軽減し、朝のシャワーが不要となりました。その後は症状の波を伴いながらも深い傷が減り、長年続いていた頭痛もほとんどみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。